



## 平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年1月31日

上場取引所 東

上場会社名 東京産業株式会社

コード番号 8070 URL <http://www.tscom.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 里見 利夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 須藤 隆志

TEL 03-5203-7841

四半期報告書提出予定日 平成25年2月5日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第3四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	151,075	△17.6	740	△15.5	956	△8.8	522	15.8
24年3月期第3四半期	183,311	72.3	876	164.1	1,049	125.3	451	92.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	19.46	—
24年3月期第3四半期	16.80	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	53,679		16,988			31.6
24年3月期	55,737		16,783			30.1

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 16,988百万円 24年3月期 16,783百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年3月期	—	5.00	—		
25年3月期(予想)				5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	251,000	△15.2	1,200	△27.7	1,400	△24.4	780	△9.6	29.04

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	28,678,486 株	24年3月期	28,678,486 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,820,835 株	24年3月期	1,818,479 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	26,858,964 株	24年3月期3Q	26,861,188 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	4
4. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) 重要な後発事象 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に緩やかながら回復基調がみられたものの、欧州債務問題、アジア新興国経済の減速、中国リスク等から、先行きは不透明な状況が続いておりました。

しかし、12月の政権交代による経済政策への期待感から円安や株価の上昇など景気回復への期待が高まっております。

こうした情勢のもと、当社の当第3四半期累計期間の成約高は、前年同四半期に比べ1,964億89百万円減少の1,577億63百万円となりました。

当第3四半期累計期間の売上高につきましては、1,510億75百万円と前年同四半期を322億35百万円(前年同四半期比△17.6%)下回ることとなりました。

売上総利益は40億89百万円(前年同四半期比1億11百万円減、2.7%減)、営業利益7億40百万円(前年同四半期比1億35百万円減、15.5%減)、経常利益9億56百万円(前年同四半期比92百万円減、8.8%減)、四半期純利益5億22百万円(前年同四半期比71百万円増、15.8%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

第1四半期会計期間より、より一層のシナジー効果を目指し事業部門を見直し、従来「その他」に含めていた営業開発関連部門を、「化学機械関連部門」セグメントへ組み入れております。なお、当第3四半期累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

受注及び販売の状況  
第3四半期累計期間

(単位:百万円)

セグメント別	成 約 高			売 上 高			成 約 残 高		
	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額	上段当期 下段前期	構成比 (%)	増減額
電 力 関連部門	129,618 (325,611)	82.2 (92.0)	△195,992	121,776 (155,357)	80.6 (84.8)	△33,581	323,309 (313,639)	95.5 (92.6)	9,669
化学機械 関連部門	9,608 (13,614)	6.1 (3.8)	△4,006	10,466 (11,415)	6.9 (6.2)	△948	4,986 (6,393)	1.5 (1.9)	△1,407
電子精機 関連部門	12,051 (8,643)	7.6 (2.4)	3,407	11,588 (8,125)	7.7 (4.4)	3,462	6,677 (5,817)	2.0 (1.7)	860
環境・船舶 関連部門	3,905 (3,870)	2.5 (1.1)	34	4,680 (5,440)	3.1 (3.0)	△759	2,443 (11,408)	0.7 (3.4)	△8,965
その他	2,579 (2,513)	1.6 (0.7)	66	2,563 (2,972)	1.7 (1.6)	△409	1,198 (1,295)	0.3 (0.4)	△96
合計	157,763 (354,253)	100.0 (100.0)	△196,489	151,075 (183,311)	100.0 (100.0)	△32,235	338,616 (338,555)	100.0 (100.0)	60

## (電力関連部門)

売上高は1,217億76百万円と前年同四半期に比べ335億81百万円の減少となっております。また、成約高は1,296億18百万円(前年同四半期比1,959億92百万円減)、成約残高は3,233億9百万円(前年同四半期比96億69百万円増)となり、営業利益は1億98百万円(前年同四半期比1億60百万円減)となりました。

## (化学機械関連部門)

売上高は104億66百万円と前年同四半期に比べ9億48百万円の減少となっております。また、成約高は96億8百万円(前年同四半期比40億6百万円減)、成約残高は49億86百万円(前年同四半期比14億7百万円減)となり、営業損失は1億15百万円(前年同四半期は35百万円の営業利益)となりました。

## (電子精機関連部門)

売上高は115億88百万円と前年同四半期に比べ34億62百万円の増加となっております。また、成約高は120億51百万円(前年同四半期比34億7百万円増)、成約残高は66億77百万円(前年同四半期比8億60百万円増)となり、営業利益は4億10百万円(前年同四半期比1億57百万円増)となりました。

## (環境・船舶関連部門)

売上高は46億80百万円と前年同四半期に比べ7億59百万円の減少となっております。また、成約高は39億5百万円(前年同四半期比34百万円増)、成約残高は24億43百万円(前年同四半期比89億65百万円減)となり、営業利益は1億25百万円(前年同四半期比1億15百万円増)となりました。

## (その他)

売上高は25億63百万円と前年同四半期に比べ4億9百万円の減少となっております。また、成約高は25億79百万円(前年同四半期比66百万円増)、成約残高は11億98百万円(前年同四半期比96百万円減)となり、営業利益は1億21百万円(前年同四半期比96百万円減)となりました。

## (2) 財政状態に関する定性的情報

## (イ) 資産の部

当第3四半期会計期間末における総資産は、536億79百万円となり、前事業年度末と比較して20億57百万円の減少となりました。主な要因として、売上債権の減少及び前渡金の増加等により流動資産が22億44百万円減少し、投資有価証券の評価替え及び土地の売却等により固定資産が1億87百万円増加したことによるものであります。

## (ロ) 負債の部

当第3四半期会計期間末における負債合計は366億91百万円となり、前事業年度末と比較して22億62百万円の減少となりました。この主な要因は、仕入債務の減少及び前受金の増加等により流動負債が21億58百万円減少し、リース債務の減少等により固定負債が1億4百万円減少したことによるものであります。

## (ハ) 純資産の部

当第3四半期会計期間末における純資産合計は169億88百万円となり、前事業年度末と比較して2億5百万円の増加となりました。この結果自己資本比率は31.6%となりました。

## (3) 業績予想に関する定性的情報

当第3四半期累計期間の業績結果は、平成24年10月26日に開示いたしました当期業績予想に対し概ね計画通り推移しており、平成25年3月期の通期業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,193	4,611
受取手形及び売掛金	28,931	18,501
有価証券	2,596	2,498
商品	393	341
前渡金	10,315	19,350
その他	498	375
貸倒引当金	△106	△99
流動資産合計	47,822	45,577
固定資産		
有形固定資産	2,833	2,717
無形固定資産	39	25
投資その他の資産		
投資有価証券	3,916	4,315
その他	1,197	1,107
貸倒引当金	△72	△64
投資その他の資産合計	5,042	5,358
固定資産合計	7,914	8,102
資産合計	55,737	53,679
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,032	5,794
受託販売未払金	17,516	9,012
短期借入金	1,570	1,260
未払法人税等	559	—
前受金	10,966	19,655
引当金	320	140
その他	487	432
流動負債合計	38,453	36,294
固定負債		
長期借入金	10	2
引当金	189	154
その他	301	238
固定負債合計	500	396
負債合計	38,954	36,691

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	2,655	2,655
利益剰余金	10,614	10,889
自己株式	△535	△536
株主資本合計	16,177	16,451
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	466	425
繰延ヘッジ損益	△4	△11
土地再評価差額金	144	123
評価・換算差額等合計	605	536
純資産合計	16,783	16,988
負債純資産合計	55,737	53,679



(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	183,311	151,075
売上原価	179,110	146,986
売上総利益	4,200	4,089
割賦販売未実現利益戻入額	3	0
差引売上総利益	4,203	4,089
販売費及び一般管理費	3,327	3,349
営業利益	876	740
営業外収益		
受取利息	16	24
受取配当金	140	136
その他	33	68
営業外収益合計	189	229
営業外費用		
支払利息	12	12
その他	4	1
営業外費用合計	16	13
経常利益	1,049	956
特別利益		
投資有価証券売却益	—	9
有形固定資産売却益	—	2
その他	—	1
特別利益合計	—	14
特別損失		
投資有価証券評価損	149	50
その他	3	8
特別損失合計	152	58
税引前四半期純利益	897	911
法人税、住民税及び事業税	279	309
法人税等調整額	166	79
法人税等合計	445	389
四半期純利益	451	522

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力 関連部門	化学機械 関連部門	電子精機 関連部門	環境・船舶 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	155,357	11,415	8,125	5,440	180,338	2,972	183,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	155,357	11,415	8,125	5,440	180,338	2,972	183,311
セグメント利益	359	35	253	10	658	217	876

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新事業推進関連部門、不動産賃貸部門であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	658
「その他」の区分の利益	217
四半期損益計算書の営業利益	876

## II 当第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電力 関連部門	化学機械 関連部門	電子精機 関連部門	環境・船舶 関連部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	121,776	10,466	11,588	4,680	148,512	2,563	151,075
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	121,776	10,466	11,588	4,680	148,512	2,563	151,075
セグメント利益又は損失 (△)	198	△115	410	125	619	121	740

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新事業推進関連部門、不動産賃貸部門であります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	619
「その他」の区分の利益	121
四半期損益計算書の営業利益	740

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、より一層のシナジー効果を目指し事業部門を見直し、従来「その他」に含めていた営業開発関連部門を、「化学機械関連部門」セグメントへ組み入れております。

なお、前第3四半期累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。